2016年

消費者大会は、年１回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

岩手県消費者大会

『下流老人』の著者の藤田孝典さん来盛！

参加無料

10月31日(月) 10:30～15:00 サンビル7階

◆午前：全体会　10:30～12:30

1．全体会基調講演「誰もがおちいる下流老人 ～若者から高齢者への貧困の連鎖を断ちきろう！」

《藤田孝典さんのプロフィール》

■1982年生まれ、33歳。首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。NPO法人ほっとプラス代表理事。聖学院大学人間福祉学部客員准教授。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。厚生労働省社会保障審議会特別部会委員。

【主な著書】

『下流老人　一億総老後崩壊の衝撃』（朝日新聞出版 2015）『ひとりも殺させない』（堀之内出版 2013）など多数。

NPO法人ほっとプラス代表理事 **藤田孝典**（ふじた たかのり）さん

東日本大震災から5年半が経過しました。岩手県では未だ1万5千人が仮設住宅暮らしを余儀なくされ、そのうちの10％の入居世帯が退去後の居住先が決まっておらず、高齢や貧困などで生活再建のめどが立たない人もいます。仮設を出た後に本当に生活できるのか、復興格差が拡大し、被災者が抱える問題は深刻になっています。

道半ばの経済政策「アベノミクス」のもとで、貧困と格差が拡大しています。今、全労働者の約4割が非正規雇用です。雇用の悪化は格差を拡大し、貧困は若者から高齢者まであらゆる世代に広がっています。今年の国民生活基礎調査では、生活が苦しいと答えた人が60％に達しました。

「貧困問題は個人の責任ではなく社会的な構造が問題。社会保障制度をもっと実情に合わせ変えることが必要。」と藤田孝典さんは指摘します。貧困の連鎖を断ちきり、誰でもなりえる「下流老人」を防ぐにはどうしたらいいのか、藤田さんの講演を聞いてみんなで考えあいましょう。

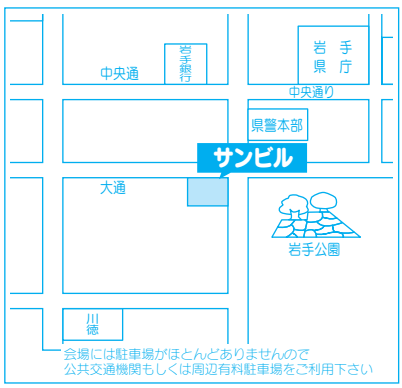
2．アピール提案

◆午後：分科会　13：10～15：00

6つの分科会から興味があるところへご参加ください。

1	食を考える	どう選ぶ？私たちの食べるもの	4	消費者問題	消費者被害の現状と対策～賢い消費者をめざして
2	憲法問題	憲法カフェ～憲法を学んで、気軽におしゃべり～	5	被災地の復興	被災地の現状、そしてこれから…
3	環境問題	捨てればゴミ、循環させれば資源～捨てる前に考えよう～	6	子どもの貧困問題	地域で広がりはじめた子ども食堂と、子どもや親たちの状況

- お弁当を用意します（500円）。個人参加で必要な方はお申し込みください。（団体からの参加は事前に取りまとめます。）
- 保育もあります（200円）。５日前までに申し込んでください。



主催　岩手県消費者大会実行委員会　　後援　盛岡市
岩手県滝沢市土沢220－3　岩手県消費者団体連絡協議会内

参加申し込みは
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

分科会紹介 13：10～15：00 会場：サンビル7階

「暮らしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに出て考え合いましょう！

第１分科会
◆食を考える
～企画運営団体～
・JA岩手県女性組織協議会
・いわて生協

会場　７階　ホール後方

「どう選ぶ？私たちの食べるもの」
・5kg1,090円の米と産直米を比べてみる～見た目・表示・味
・輸入かんきつ類のポストハーベスト農薬
・「遺伝子組み換えでない」表示のすき間
・TPPと私たちの食べるもの

◇話題提供　岡田現三さん（岩手県農民連事務局長）
◇意見交流

第２分科会
◆憲法問題
～企画運営団体～
・岩手県母親大会連絡会
・新日本婦人の会岩手県本部
・岩手県母と女性教職員の会
・盛岡大学生協

会場　７階　ホールステージ側

「憲法カフェ～憲法を学んで、気軽におしゃべり～」
私たちの生活の基になっている日本国憲法が変えられようとしています。憲法は国民の自由と権利を守るために国民が国家を規制する法であり、政治は憲法にもとづいて行わなければなりません。これを立憲主義といい、民主主義の国では常識です。だからこそ憲法を変えるには慎重な議論が必要なのです。安倍政権は「国民主義」「基本的人権の尊重」「二度と戦争をしない平和主義」を掲げる日本国憲法をどう変えようとしているのでしょうか。自民党の憲法草案をつかって学び、話し合ってみましょう。
コーヒーを飲みながら、気軽におしゃべりしましょう。

◇ゲストトーク　上山信一さん（弁護士）

第３分科会
◆環境問題
～企画運営団体～
・岩手県生活問題研究会
・岩手大学生協

会場　７階　３号会議室

「捨てればゴミ、循環させれば資源～捨てる前に考えよう～」
物を大量に生産・消費・廃棄する社会から、資源や物をムダ使いしない地球環境にやさしい循環型社会が求められています。日本は資源の少ない国です。地球温暖化や資源の浪費、生態系の問題などを解決し持続可能な社会にしていくためにどう行動すればいいのでしょうか。お話を聞いて私たち消費者が身近にできることを学びましょう。

◇ミニ講演「小型家電リサイクルシステムについて」熊谷裕徳さん（ニッコー・ファインメック株式会社）
◇報告「弁当容器リサイクルへの学生の取り組み」大学生より
◇意見交流

第４分科会
◆消費者問題
～企画運営団体～
・消費者信用生協
・岩手県労済生協
・岩手県労働者福祉協議会

会場　７階　４号会議室

「消費者被害の現状と対策～賢い消費者をめざして～」
近年、悪質商法、特殊詐欺は増加・悪質・巧妙化しています。還付金詐欺や架空請求、新手の悪質商法など消費者トラブルは複雑多様化し、特に高齢消費者の被害は増大しています。ミニ講演では、悪質商法や特殊詐欺の事例をたっぷり紹介。その撃退法や、被害に遭ったときの対処方法などをわかりやすく解説いただきます。自分の身は自分が守るのだという意識を持ち、正しい知識と行動を身につけましょう。

◇ミニ講演「こんなに怖い！悪質商法の実態」佐藤幸伸さん（盛岡市消費生活センター主査）
◇意見交流

第５分科会
◆被災地の復興
～企画運営団体～
・いわて生協
・岩手県学校生協
・岩手県退職女性教職員の会

会場　７階　５号会議室

「被災地の現状、そしてこれから…」
東日本大震災からの５年半、被災地はどのように復興してきて、被災地で暮らす人々の生活はどう変化してきたのでしょうか。そして今、被災地では何が求められているのでしょうか。あらためて被災地の現状を知り、震災を風化させないために復興とどう向き合っていけばいいのか、一緒に考えましょう。

◇報告　岩手県復興局復興推進課より
　　被災地より

第６分科会
◆子どもの貧困問題
～企画運営団体～
・岩手県生協連
・ｉ女性会議岩手県本部
・盛岡医療生協

会場　７階　６･７号会議室

「地域で広がりはじめた子ども食堂と、子どもや親たちの状況」
孤食や欠食になりがちな子どもたちの支援を目的に広がっている「子ども食堂」。盛岡や滝沢で始まった子ども食堂とはどのようなものか、現状や問題意識などを報告していただきます。子どもや親の状況から、支援のあり方や他地域でも広げるためにはどうしたらいいのか、一緒に考えあいましょう。

◇報告　佐藤昌幸さん（ＮＰＯ法人いなほ代表理事）
◇意見交流
○助言者として、全体会で講演いただいた藤田孝典さんにご参加いただきます。